

Crew Voice

2017年7月16日 第20号

JR東海労・新幹線車内業務見直し反対プロジェクト

JRからJRCPへの出向は問題 ②

JR東海ユニオン新幹線地本「業務部情報第591号」報によると、会社はユニオンとの業務委員会でJRCPへの出向を実施する理由として「**今回の施策のためには一定の規模の下支えの人がいないといけないと思っている**」と述べています。どうしてJRCPへの業務委託のために「一定の規模の下支えの人がいないといけない」のでしょうか？

施策実施にあたっての社員教育のためにインストラクターとして出向するのならわかります。なんで、JRCPに出向してJRCPの仕事をするのが「下支え」なのかさっぱりわかりません。

業務委託に不安があるから「支える」ということでしょうか。しかし出向はあくまでもJRCPの仕事をするのであって、パーサーが不慣れな部分を「支える」ためではありません。また**出向に行くとワゴン業務もやると言っています。ワゴン業務は車内業務委託とまったく関係のない業務です。**

つまり「今回の施策のためには一定の規模の下支えの人がいないといけない」ということは、**施策の下支えなどではなく、JRCPの要員不足を東海からの出向で埋め合わせるということ以外に考えられません。**なんでそんなことのために出向にいかされなければならないのでしょうか？

冗談じゃありません！！

ユニオン地本役員は、会社の説明を聞くだけで抗議も反対もしていません。ユニオン組合員の皆さん！こんな理不尽なJRCP出向を許せます？

私たち東海労と共に出向反対の声を上げましょう！